

追悼と誓いのことば

「0157 堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい」の開催にあたり、堺市を代表して謹んで追悼と誓いのことばを申し上げます。

平成8年7月に発生した「0157 堺市学童集団下痢症」から30年の歳月が流れました。亡くなられた4人の方の無念と、最愛の人を失われたご遺族の皆様の深い悲しみを思いますと痛恨の極みであり、犠牲となられた方々に心より哀悼の誠を捧げます。

また、り患されたすべての方に謹んでお見舞い申し上げ、現在もなお健康に不安を抱えておられる方々の一日も早いご回復をお祈りします。

発生から30年を迎えた今、二度とこのような痛ましい出来事を繰り返してはならないとあらためて強く認識し、被害に遭われた方々を決して忘れず、事件を風化させないことを決意します。

本市では、昨年6月から全員喫食制の中学校給食を開始しました。「0157 堺市学童集団下痢症」の教訓を胸に刻み、衛生管理を徹底した安全・安心でおいしい学校給食を提供し続け、こどもたちが健やかに成長できるよう万全の態勢で臨みます。

そして、市民の皆様がこれからも堺で安心して暮らし続けることができ、将来にも夢と希望が持てる都市であるように力を尽くします。

このことをここにお誓いし、「追悼と誓いのことば」といたします。

令和8年7月12日

堺市長 永藤 英機